



Thank you very very much

wow wo wow wow wo wow  
wow wo wow wow wo wow

風のない日に凧上げずるな 風が来るまで待てばいい  
風のない日が3日続けば はぐらかすのも上手くなる

\*Thank you very very much  
お前との思い出ならカタログほど  
Thank you very very much  
そろそろお終りにしよう

wow wo wow wow wo wow  
wow wo wow wow wo wow

夜明けの海が好きなあいつに 涙の海を沢山あげる  
誰にも知れず ひとりぼっちで 夜更けの海に流したよ

Thank you very very much  
別れ際のきれいな星なら星の数ほど  
Thank you Sayonara bye bye  
そろそろ背中では bye bye

マンゴジュースの氷は抜いて ジュースの量を増やしてくれ  
落ち込むことはなにもないんだ いつでもそうしてやってきた

\*Repeat

close to me

何も気づかぬまま 通りすぎてゆくもの  
名も知れぬ 路上の花 梢の鳥 君の涙  
誰かと出会う度 瞳の奥底に  
暖かな光 探す  
君と重ね 面影追う

close to me.I believe happiness.  
君のそばの おだやかな時よ I miss you  
逢いたくて 冬ざれの路

抱えきれない夢 それは降りしきる雪  
音をなくし 道をなくし ただ美しく きらびやかな  
遠い夢はいつしか 手のひらに消えていく  
わかったんだ ひとときの 大切さを今

close to me.I believe happiness.  
君がくれた おだやかな日々よ I miss you  
逢いたくて 冬ざれの路  
close to me.I believe happiness.  
君とふたり 愛すべき日々よ I miss you  
逢いたくて 冬ざれの路

海辺のBUS STOP

あの日海辺を帰るバスは  
なかなかやって来なかったね  
とうとう道路の敷石に  
座りこんだのは君

並んで星を眺めてみたり  
僕が逆立ちしてみせたり  
君の笑い声で僕の心の中  
いっぱいになった  
別にたいした恋でもないけれど  
今でも不思議と忘れない 海辺の BusStop

あの日海辺を帰るバスの  
乗客は二人だけだったね  
いちばん後ろの席がいいって君  
座ったとたんに寝息

遠く 船の明かり窓に  
揺れて 君は僕の肩  
そして二人の恋がいつか  
はじまったんだね  
別にたいした恋でもないけれど  
今でも不思議と忘れない あの日の船の明かり

純情カタルシス

ああ 愛されて愛されて ふたり  
ああ 愛してない愛してない 今は  
No No 愛してる愛してる ほんとは  
どっちつかずの 別れだぜ

I wanna 純情 カタルシス 駆け引きなんかやめよう  
ah 制御不能の禁断症状 壊れて光るながれ星  
どこまで尾をひく ah ah ラストシーン

ah 信じてる信じてる 愛を  
ah 悲しいね悲しいね 何故に  
逢いたいよ逢いたいよ 今も  
嘲笑されても ずっとマシ

I wanna 純情 カタルシス 夢の話をしようか  
ah 無用な疑い無用な心配 ぐるぐる回してやっこしい  
混沌 混沌 ah ah ラストダンス

I wanna 純情 カタルシス いつか失くしたピュアハート  
ah 壊れたグラスは帰らない 汚れた水は戻らない  
いつまで見つめる ah ah

you will be back. I'm think of you.  
もう一度 ah 逢いたい見たい  
you will be back I'm think of you.  
もう一度 ah 逢いたい見たい  
愛してる愛してない 愛してない愛してる  
愛されて愛されない

easy com easy go

easy com easy go 苦勞もなしに  
手にした big money 3日と持たず  
今日も Bin Bow Mr.Bibinbow

easy com easy go 可愛いあの娘に  
打ち明けられても ひと月持たず  
いつも Cry Cry Mr.Bibinbow

こんな不幸は終わりにしよう  
今年も見事にサクラさく

いつまで続ける こんな事  
アタマの中まで ハナバタケ

泡と同じだ はじけて消える  
金は天下のまわりもの  
well 頑張れ Bibinbow Mr.Bibinbow  
走った自動車は 止りはしない  
いつも Hey Kye だ Mr.Bibinbow

sweet rain

壊れた愛を見つめながら 誰もがつぶやく  
あいつは悪魔 おいらは天使  
無駄に過ごしたものと  
けれどいつか時の流れに 憎しみを忘れ  
誰もいない街の歩道に やさしい雨が降る

Sweet Sweet rain お前の事なのさ  
Sweet Sweet rain 音もせず街を濡らす雨さ

苦しい時やひとりきりで 明日が見えない時  
知らず知らず 男たちは両手を広げ  
優しい雨を抱きしめながら 歩いているのさ  
眠れぬ夜の闇の深さを 紛らす為に

優しきまわり道

見知らぬ異国に旅する地図  
机に広げたなら  
その時私の何かが変わる  
あしたは見果てぬ夢の中  
昨日の事はすぎた昔と  
忘れてしまおう 立ち去る部屋に

今ふりかえれば時のほざま それぞれの風の中  
愛し愛されて去った恋の 優しきまわり道  
思いがけず夕焼けが あの頃に似ていても  
いつまでも 悲しくはない

見知らぬ街並初めての空  
たたずみ見つめたなら  
その時私の何かが始まる  
生まれたばかりの子供のように  
一人歩きに慣れて来たなら  
きっと帰れる思い出の街に

## ひつじ雲のうた

どんなに背伸びしても 届かないものがある  
例えば見上げる空 浮かぶひつじ雲  
どんなに考えても 答えなど見つからない  
そんな事気にしない いつも広い空

とても下手くそな トランペットが聞こえる  
PaPaPa PaPaPa 笑っちゃう程はずれた音で  
でも嫌いじゃないかもね

夕日は今日の終わり 星見て明日を思う  
わずかなシアワセと 限りないフシアワセ  
世界中でただひとり 会いたいひとを想う  
どんなに辛い時も 同じ夢を見る

今日も下手くそな トランペットが聞こえる  
PaPaPa PaPaPa 空にかかった虹の橋を  
いつか渡っていけますように

絵のような幸せに いつまでも届かない  
幸せは空の上 今日隠れている  
どんなに淋しい時も 瞳をこらしてれば  
幸せは空の下 きっとやってくる  
いつか きっと いつか きっと

## 冬のガラン

ちょっと聞いてもいいですか 私はこの街で  
心をきれいにしていれば 幸せになれるか  
愛は豊かに勝てますか ひとの情けに泣きますか  
みんなあなたが聞いて来た とても大切な事

December love 冬の伽藍  
肩を寄せ合い illumination  
瞳に映し

merry christmas & happy new year  
君とふたりの日々をありがとう

うれしい時に僕ときたら いつでも泣きたくなる  
長すぎる時を過ごさすぎた あなたに会うまでに  
空ばかり見ていたから つまづいて転んだ  
見たくないものばかり見て 目薬をさしていたんだ

December love 冬の伽藍  
ただ見つめ合い illumination  
瞳に映し 君と出会った年が 明日に向かう

merry christmas happy new year  
君と過ごせる夜に 乾杯

## 谷底の鷹

上昇気流を捕まえて 高く舞い上がれ  
想いなら 果てもなく  
空を見つめる 谷底の鷹

誰のものでもないんだ お前だけの空  
恋しても 恋しても 届かないもの  
傷つけられながら

さえぎるものには矢を放て  
ひたすら情熱を守れ  
Never say too late 心のままに  
Never say never 想いつぎるまで  
訪れる日々を 喜びの中で  
終わらない Heart beat 胸に宿して

I'm so sorry 迷惑は承知 すべての償いは捨てた  
目を見はる夢の欠片 あたり一面  
散らしてみせよう

上昇気流を捕まえて 俺は舞い上がる  
そびえる山を 雲を抜け  
高みに向かう 谷底の鷹

闇の深さに 目を光らせ  
新しいかぜを呼ぶ  
Never say too late 余熱まじりの  
ah Never say never 独り言を囁え  
訪れる日々を 喜びの中で  
終わらない Heart beat 胸に宿して

Never say too late Never say never  
I'm gonna go may way

## さくら 花びら

遠くにいるも 私は願う  
あなたの夢が 叶うよに  
冷たい雨に ふるえる日にも  
こんな想いが 届くよに  
さよならは あなたから  
言い出して 背中むけて  
さくら花びら 川面に落とし  
明日の舟をうかべる頃

はなれていても 私にわかる  
あなたの愛が 届くこと  
陽射しをさける 木蔭のように  
小さな風が 起きること  
ひゅう ひゅるり ひゅう ひゅらら  
おくれ毛を そっと揺らす  
もうすぐ 夏が来て いくつ冬を越し  
きっと あなたに また会えますように

約束するよ その一言が  
聞けないままに 桜散る  
夢と恋とを 重なり合わせ  
愛のかたちを 知った日々  
さよならは あなたから  
言い出して 背中むけて  
さくら花びら 川面に落とし  
明日の舟をうかべる頃



## Nonfiction

春に生まれた 麗しの人  
声はきれいだ 心もそう  
ノックノック 開きそうな扉の前で  
胸に空いた穴 いま埋めてたところ

約束された 幸せなんて  
探してみても 見つからない  
欲しいものは 今  
熱い想いじゃない 暖かさ

ノンフィクション 出来すぎのキャストイング  
通り雨なら やり過ぎすけど  
or フィクション? 天使のいたずら  
酔いが覚めるまで 手を握っていてくれ

冬に生まれた ひとりの男  
いつも笑顔で 泣いていたんだ  
どうかしてるよ 夢の根っこが  
曲がったままで 震えてる

作り話か 本当の事が  
プレーキなしの クルマは走る  
欲しいものは 今  
流れる 景色じゃなくて 確かな予感

ノンフィクション とびきりのストーリー  
すべての事は 今日に始まる  
or フィクション? 夢なら夢で  
静かに 覚めるまで 肩を寄せていてくれ

## The Moon

風によって 夢にふかれ  
想い出を いくつも重ね  
想い出の 丘の上で  
明日の歌を 歌うんだ

深い川は 静かに流れる  
終わりのない いのち讃え  
やがて流れは 海を渡り  
懐かしい 空に還る

I will lay me down  
瞳閉じて 見えるものは  
いつの日も 僕を照らす  
あなたの月

想い出は 時の魔法  
悲しみを優しく 溶かしてゆく  
だから双眼鏡を さかさに眺め  
明日の歌を 探すんだ

根の浅い木が 風に倒れる  
当たり前の話だ  
ウソだろって 天を見上げ  
薄笑いをしながら 泣くのは誰だ

I will lay me down  
瞳閉じて 見えるものは  
いつの日も 道を照らす  
あなたの月